



第26号

平成21年12月25日

発行責任者

千歳市町内会連合会

会長 北村 功

千歳市東雲町1丁目11番地

千歳市社会福祉協議会内

TEL.0123-27-2525

印刷

(株)フロンティアエージェンシー

市町連だより

平成21年度

市関係者と市町連との懇談会開催

去る11月10日、ホテル日航千歳を会場に「平成21年度市関係者と市町連との懇談会」を実施しました。今年度も懇談会の第一部で、山口市長をはじめ部課長との懇談が実現し、町内会・自治会が抱えている地域課題について懇談いたしました。

先に町内会より提出されました行政への要望を取りまとめ、10月13日付で千歳市長へ要望書を提出、当日は担当部長より項目ごとに説明がありました。



平成21年度 市関係者と市町連との懇談会

なお、市からの要望事項に対する回答書につきましては、12月4日に各町内会長へ送付済みです。
この度の懇談会におきましては、公務ご多用中、山口市長はじめ部課長のご出席をいただき、心からお礼を申し上げます。これからの町内会活動は、

- 平成21年度 千歳市町内会連合会要望事項
- 一、 地域医療体制の整備・充実について
 - 二、 防災対策の強化について
 - 三、 集団資源回収システムの確立について
 - 四、 環境・衛生等について
 - 五、 除雪及び排雪対策について
 - 六、 生活道路の補修・整備について
 - 七、 信号機の設置について
 - 八、 その他の要望
- ①千歳市の送付(回覧)文書の適正化
 - ②長都駅前地域警察官派出所の新設
 - ③長都コミュニティセンターの早期建設

平成21年度道央ブロック町内会活動研究大会

市町連副会長 廣重 裕康
平成21年度道央ブロック町内会研究大会は、9月24日・25日岩見沢平安閣で開催されました。
テーマは「安心・安全なまちづくりをめざして」で、少子・高齢化の進行や、100年に一度と言われる経済不況は地域行財政にも変化をもたらしており、地域づくりへの取り組みにも多種多様な課題を投げかけ、町内会・自治会活動に大きな期待が寄せられています。

本大会では地域の支えあいと新たなコミュニティをめざして、子どもからお年寄りまで誰でもが住んでいて良かったと思える安心・安全な地域づくり・まちづくりを研究する大会でした。
講演は「地域の支えあいと新たなコミュニティづくり」と題して、札幌大学経営学部教授の佐藤郁夫氏からありました。引き続きの分科会討議は、第1「見守り・たすけあい活動について考える」、第2「ゴミ減量・リサイクル活動について考える」、第3「自主防災を中心としたコミュニティづくりについて考える」があり、当会から参加の25名がそれぞれの分科会で千歳市の実践事例などを紹介するなど活発な協議が行われました。

地域をしっかりと見つけ、生活にかかわる諸問題に取り組んでいくことが役割と考えます。本会は単位町内会・自治会と連携を図り、諸問題の解決に向けて行政の対話を重視し、地域づくりに推進してまいります。

部会報告

災害に思いを寄せて

安全部会長 中村 茂昭

昨年は、市町連安全部会が担当する各種事業にご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

安心・安全な街づくりの中で、地震、噴火、交通安全、防犯、風水害は、日頃からの準備と訓練等が必要不可欠と思うのであります。震災について、昨年までは札幌市南区澄川連合会を訪問し、毎年行



う実働防災(地震)訓練等の見学研修を実施してきました。そして今年には伊達市を訪問し、火山噴火に対する対処計画等について、市役所・消防署にプロジェクトを使って説明して頂きました。また洞爺湖町の有珠火山の西山火口の荒々しい状況、火山博物館による再現を見学してきました。

は、主に関係機関の対処・対策と支笏湖住民の安全確保に重点を置いたものでした。来年4月には千歳市の防災センターが完成する予定で、各町内会の防災に対する思いも強まることと期待しています。今後も各種安全対策について推進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

これからの集団資源回収

環境部会長 長谷 勤

「市民」「資源回収者」「環境保全公社」の三位一体で取り組んできた集団資源回収事業も、既に四半世紀を経過し、三者はそれぞれの立場で、取り巻く社会的環境の変化にともなう対応を検討しているところであります。



千歳市では、今年度の防災訓練を「前山の噴火」を想定し実施されました。これは

月出荷分からの急激な資源市場価格の変動を実感し、8月には千歳市と合同で江別市を訪ね、他市における資源回収への取り組み状況の研修結果等を踏まえ、これからの資源回収の在り方を検討しております。

千歳市では現在の集団資源回収システムが、町内会の連帯感の醸成、コミュニケーション機能の堅持、還元率の確保に機能していることを念頭に、町内会の作業負担の軽減、資源価格の変動の影響が少なく、安定的で持続可能なシステムを検討しております。そして新たなシステムの素案を取りまとめ、その段階で市町連との協議の場を設定することを確約しており、来年度には協議の場が設定されます。

千歳市ではその後の市民説明会などを経て、平成24年度からの実施を目指したいと考えていますので、それまでの間は現行の集団資源回収にご協力をお願いいたします。

市内の福祉施設と地域福祉の現状を知るために

福祉部会長 沼田 常好

12月1日に福祉部会として初めて、市内の地域福祉の実態について市内3施設を視察研修、43名の参加をいただき実施しました。

最初に伺ったのは「いずみワークセンター」ですが、ここでは「クリーニング、お菓子の箱づくり、パンづくり」が行われています。参加者の中には「パンづく



り」などがこの施設で行われていることを知らない方が多くいました。施設の説明による、販売先がないこと、そして知的障害者にとつて働くことが重要であり、地域の皆さんとの接触が必要とのこと

次に「デイサービスセンターゆうび」さんに伺い、要介護の高齢者を対象にした「デイサービス」を視察。次に「小規模多機能ホームえみな」さんに伺い、施設の見学と説明を受けました。

参加者の皆様は千歳市の福祉の現状について実感したと、各施設ともボランティアを求めていることに興味を持たれていました。

町内会青少年部長の集い

青少年部会長 湯村 明裕

11月下旬の研修会の最大の狙いは、町内青少年部の活性化でした。市町連の青少年部会の町内会青少年部長に対する直接支援は困難な面があり、その手段対策として千子連の事業、特に町内会青少



年部の行事等への支援についての活動報告を。その中で女高生2名のシニアリーダーによる指導で、合唱しながらの振りの動

作を参加者全員で楽しんだ。町内会は千子連を大いに活用し、相互に協力支援し絆を深めて、町内会活動の充実を図っていただきたい。2町内会の事例発表後、昼食を囲んでアットホームな雰囲気の中、忌憚のない意見交換、交流、質疑応答を実施。参加者全員、何かを得ることができた。と確信している。

青少年の健全育成、特に安全安心のための見守り等の活動は、かなりの町内会が実施中で心強さを感じた。また挨拶、声かけ、対話、躰指導等を通して、心豊かな人格の醸成等、機会を捉えて実施し、近隣地域を含めてコミュニケーションの充実が大切と考える。

女性部会秋期研修
認知症を学び地域で支えよう

女性部会長 原口 秋子
私たちの日常生活にもっとも大切に

ありながら、実行することの難しいこと
があります。地域では高齢化する重要課
題の一つとなつていている認知症問題とど
うつき合つていくことが必要であるか。
このことを取り上げ、「認知症サポータ
ー養成講座」を研修課題として開催いた
しました。

認知症について学び、知識・理解を得て、
地域の認知症の人や家族の方を支える
お手伝いが出来れば、穏やかに住み慣れ
た地域で暮らしていくことが可能では、
と思つています。この研修は多くの人に関心
を持つていただくこととなり、143名
の参加者全員、「認知症サポーター」の誕
生となりました。

これら女性部の方々々が地域の支援者
となり活躍してくださることを願つて
おります。お互いが「ありがとう」のすて
きな言葉で人と人をつなぐ明るい地域
づくりの心を忘れず頑張つていきたい
と思つております。

町内会女性部長等秋季研修会



記念事業を
おこなつた
町内会を
ご紹介します

北斗3丁目町内会
創立30周年記念

10月3日午後、

各家庭に記念誌と

紅白饅頭が配られた。

何事が始まつたかとびっくり
する家庭もあつたのではと、い
らぬ心配をしましたが、各班長
さんのご協力で、無事10月4日、
北斗3丁目町内会創立30周年記
念式典・祝賀会が盛大に開催さ
れたことに、まず感謝、ありがと
う。

るか等、
試案を
検討す
る中『嬉
しい、
楽しい』
『やつて
良かった』、
そんな式
典は？



会長になつて6年目になりま
すが、町内会が誕生してから30
年目になるとは気づかず、昨年
役員会で全員一致で記念事業を
開催することを決定。実行委員
会の設立、委員は誰にお願いす

そんな印象
の残る
イメージ
ジを想像しながら何度かの会合
を重ね、企画する苦労や楽しみ
を共に味わい、町内会員の協働
化がなされたのではないかと思
うのであります。

記念式典・祝賀会の招待状は
各家庭に配付し、「見なかつたよ」
「見たよは避けねば」「えっ、こ
れはなに？」と言われては意気
消沈します。

高齢者が増加する今、集まり
は人間関係を豊かにしてくれま
す。町内会員は、隣を無視しない、
支え合う。そんな支援力を確実
に作り上げることが必要ではな
いでしょうか。



● 柏陽町内会

創立20周年

会長 北村 功

柏陽町内会創立20周年祝賀会



ドーン・ドン・タツタツター
向陽台ママさんの千舞泉太鼓
によるオープニングの演奏です。
太鼓の音色はズシリと腹にしみ
る。

平成2年1月に向陽台コミセ
ンを会場にして「柏陽町内会」が
誕生しました。そのゆかりの会
場で創立20周年記念の祝賀会を
開催することになり、うれしい
限りです。

創立20周年の節目を祝う会
—
みんなで考え、みんなで造りあ
げようの合い言葉で始まった記
念祝賀会。千舞泉太鼓をはじめ



創立20周年を経た今日、高齢
化社会を背景に生活弱者である
高齢者や障害者に目を向けた活
動や、将来を担う青少年の見守
り支援といった活動にも力を注
いでいきたいと思っております。

町内会結成時の人口は628
人、世帯数190戸。それが平成
21年には人口1,343人、世帯数
500戸と急激に増加してきま
した。

町内会結成時の人口は628
人、世帯数190戸。それが平成
21年には人口1,343人、世帯数
500戸と急激に増加してきま
した。

記念事業をおこなった
町内会を
ご紹介します

稲穂町内会創立30周年・
町内会館新築落成記念式典

この度、稲穂町

内会創立30周年・

町内会館新築落成記念

式典、祝賀会を、去る10月25日、

山口千歳市長をはじめ力示社協

会長、北村市町連会長、近隣町内

会長他、多くの来賓の方々、そし

て町内会員の皆様のご臨席を賜

り盛大に挙行することが出来ま

した。

稲穂町内会は、昭和55年
100余世帯で発足、以来二度
の区画整理事業を経て住宅地が



拡大され、それにより住宅が増大、
平成21年7月現在800余世帯、
人口約2,000人を数えるま
でに発展いたしました。

その間、歴代会長はじめ役員
の方々の献身的なご努力と、町
内会員の格別なご理解とご協力
により住みよい街づくりに徹し
た町内会活動を継続発展させ、
今日の稲穂町内会となりました。

特に町内の人々との連帯意識
の醸成に関すること、高齢化社
会に即した福祉に関すること、
子ども会の育成に関すること、
地域の安全見守り活動等を重点
に日々活動を行っております。

稲穂町内は、安全で安心な街、
この街に住んでいて良かったと
思える町内会にすべく、町内会
創立30周年
を節目とし
てまた町内
会活動の拠
点である新
会館を中心
に、新たな
時代に適し
た町内会づ
くりを努め
て参ります。

● 稲穂町内会

創立30周年

町内会館落成

会長 佐々木 徳昭